

「食品中の放射性物質について」

主催 京都先端技術研究会 共催 京都ものづくり協会，京都市

21世紀は、大量生産、大量消費を脱却し、環境や安全も考慮した研究開発、生産活動が求められていますが、去る3月11日の東日本大震災において生じた福島第一原子力発電所の事故とそれに伴う放射性物質の環境への漏洩は、安全、安心がもっとも憂慮される事態であり、放出された放射性物質を短期間に回収することは難しく、今後、広範囲、かつ長期間にわたるモニタリングが必要とされ、新聞等にも測定データが日々掲されています。事故発生から10カ月が経過しますが、今もなお、環境や食材など身の回りの放射能の影響を心配する声が多くあります。

今回の事故に関連した放射性物質について、そのふるまいなどを正しく理解するために「食品中の放射性物質について」と題しまして、放射能規制値を理解するための基礎知識、食品中の放射能検査を実施する意味、検査方法の実際、さらには、長年にわたる食品中の放射性物質の測定結果から推測される今後の動向などについて講演していただけます。

今回のテーマは、日々取り組んでおられる技術的な課題とは趣は異なりますが、原発事故で注目される放射性物質に関し、その事態を正しく理解し、今後の企業活動に役立てていただければ幸いです。

記

日時 平成24年3月1日（木） 午後2時～4時30分
会場 京都市産業技術研究所 2階 ホールA,B,C（裏面地図参照）

内容 「食品中の放射性物質について」

- ① 放射能規制値を理解するための基礎知識
- ② 食品中の放射能検査を実施する意味
- ③ 検査方法の実際
- ④ 過去の検査結果から推測される今後の動向

伴 埜 行 則 氏（京都市衛生環境研究所 生活衛生部門 担当課長補佐）

定員 50名（先着順）

受講料 無 料

締切日 平成24年2月29日（水）

申込み 参加希望の方は、裏面申込み用紙により FAX または郵送のいずれかにより
京都市産業技術研究所 企画情報室（担当 金属系材料チーム）まで申込みください。

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町91

TEL 075-326-6100, FAX 075-326-6200

その他 定員超過の場合のみお断りの連絡をします。

